

耳下腺の手術を受けられるかたへ

患者氏名: @PATIENTNAME 様 (ID: @PATIENTID)

	外来	入院(手術前日)	手術当日(術前)	手術室	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3~4日目	術後5日目~6日目以降
達成	*手術に向けての準備が整っている。	発熱がない。	発熱がない。		排泄に問題がない。 創部に問題がない。				
治療処置薬剤	血圧・心臓・脳等で内服中の薬があれば必ず申し出てください。	耳の周囲を除毛することがあります。	診察後に医師が持続点滴をします。	手術室で抗生剤の点滴を投与します。	時間ごとに血圧、体温、脈拍などを測ります。 手術後2時間は、酸素吸入をします。 抗生剤と止血剤入りの点滴をします。	必要に応じて採血などの検査をします。 朝・夕2回抗生剤など点滴をします。	創部からの血液、滲出液量が少なくなれば管を抜きます。 創部を確認しながら抜糸していきます。 抜糸後は創部にテープを貼ります。 抗生剤の内服が始まります。		術後5日目まで抗生剤の内服薬があります。
検査	採血、呼吸機能心電図、レントゲンの検査をします。	ネームバンドをつけます	朝、診察があります。			毎朝診察があります。			
安静度活動		病棟内の歩行は自由です			手術後2時間まで絶対安静です。 手術後4時間はベット上安静です。 排泄もベットの上で行います。どうしても無理な場合はお知らせください。 手術後4時間で自由に動けます。	病棟内の歩行は自由です。			
食事栄養	普通に食事をしてかまいません。	()時以降は絶食です。 ()時までは水分はかまいません。	()時以降は絶飲食です。 うがいはかまいません。		手術後4時間経てば、飲水のみ可能です。(初回は看護師見守りのもと)	朝から7分粥食です。	全粥食となります	3日目から常食です。	
清潔	入浴できます。	入浴できます。				体を拭くタオルを持っています。 手伝いますので、体を拭きましょう。			創部の管を抜いた後はシャワー可能です。 創部は濡らさないように気をつけて下さい。
排泄					自由にうごけるようになれば トイレ歩行可能です。(初回は看護師見守りのもと)				
教育説明指導	医師から治療について説明します。 看護師から入院について説明します。 禁煙しましょう。 麻酔科医が麻酔について説明します。	看護師から入院生活や術前の準備について説明します。	貴重品は家族の方に預けておいて下さい。 家族の方に手術の待合室の説明をします。 家族の方は手術室でPHSを借りて、院内でお待ち下さい。	手術が終わったら主治医から手術の内容について説明があります。	首をひねったり後ろに強く反らしたりすることは避けてください。 創部に管が入っているので、抜けたり折れたりしない様に気をつけてください。 痛みが強い場合はご希望により座薬の挿入あるいは痛み止めの内服・注射をします。				退院について説明があります。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想されるもので変更することがあります。

注3 手術の状況によっては、予定より処置等が変更となることがあります。

姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科

2014年3月作成

2014年9月改訂

管理コード: A0903000